

令和5年度 教育コミュニティづくり推進事業に関する目標・評価等（学校支援活動やおおさか元気広場）

目標	取組み	目標に関する指標	結果・評価
<p>学校支援活動やおおさか元気広場に関わる地域の方々の定着や育成を図ります。</p>	<p>教育コミュニティづくりに関わる方々への研修や交流会等を実施します。</p>	<p>研修実施後のアンケートで、今後の活動の充実につながると感じた方の割合 90%以上をめざします。</p>	<p>○研修に参加した方々の97.6%が「今後の活動の充実につながる」と答えており、活動を担う地域の方々の参画・育成へのアプローチを行うことができました。</p> <p>○引き続き地域の方々の参画・育成が課題となっているため、次年度は、教育コミュニティづくりに関わる方々のすそ野を更に広げ、地域ボランティア等の定着や育成をすすめるため、府主催の研修や希望する自治体の主催研修を支援する取組みを行います。</p>
<p>子どもたちの学びや成長を地域全体で支えることができるよう、地域の実態に応じた、おおさか元気広場企業・団体プログラムの活用を進めます。それらにより、放課後等における子どもたちの体験や学びの充実を図ります。</p>	<p>おおさか元気広場企業・団体プログラムについて、自治体担当者や地域の方々（コーディネーターなど）への広報や周知を行います。また、プログラムの充実に向け、企業・団体との連携を図ります。</p>	<p>おおさか元気広場企業・団体プログラムの活用が、子どもたちの豊かな学びや体験となると強く感じた割合 80%以上をめざします。</p>	<p>○自治体担当者や地域の方々（コーディネーターなど）に対してプログラムの活用をすすめたことや、企業・団体への協力依頼を進め、新たなプログラムを追加したことなどにより、プログラム活用数は前年度に比べて1.8倍になりました。</p> <p>○プログラムを実施することが、「子どもたちにとって、豊かな学びや体験になる」と強く感じたおおさか元気広場担当者等の割合は71.6%と目標を下回りました。しかし、担当者の97.8%が「次回もまたプログラムを活用したい」と感じていることなどから、子どもたちの多様な体験活動の充実を図ることができました。</p>